

リサーチ・クリップ

2013/10/31 No.55

リサーチ・クリップでは、最近関心の高まっている環境問題、企業の従業員・地域社会といった様々な社会との関わりなどに関する記事や、国内および海外における公募投信（以下、ファンド）の最新情報を紹介します。

ファンド

世界各国における運用会社（上位5社）のマーケットシェア

投資信託協会の発表によると、国内でファンドを運用している投資信託会社（以下、運用会社）は今年9月末時点で74社ある¹。各社が運用している純資産総額（以下、運用資産）の全体に占める割合（マーケットシェア）を見ると、上位5社でファンド市場全体の運用資産（76.8兆）の6割を占めていることがわかる（図表1）。また、直近5年の推移を見ても、全体の運用資産規模や上位5社の順位に変化はあるものの、上位5社のマーケットシェアはほとんど変わらない。

図表1 国内における運用会社（上位5社）のマーケットシェア

順位	運用会社	純資産総額(兆円)	マーケットシェア
1	野村アセットマネジメント	17.5	23%
2	大和証券投資信託委託	11.6	15%
3	日興アセットマネジメント	8.6	11%
4	三菱UFJ投信	5.2	7%
5	国際投信投資顧問	3.5	5%
合計(上位5社)		46.3	60%
全体(74社)		76.8	100%

出所：投資信託協会のデータを基に NFI 作成

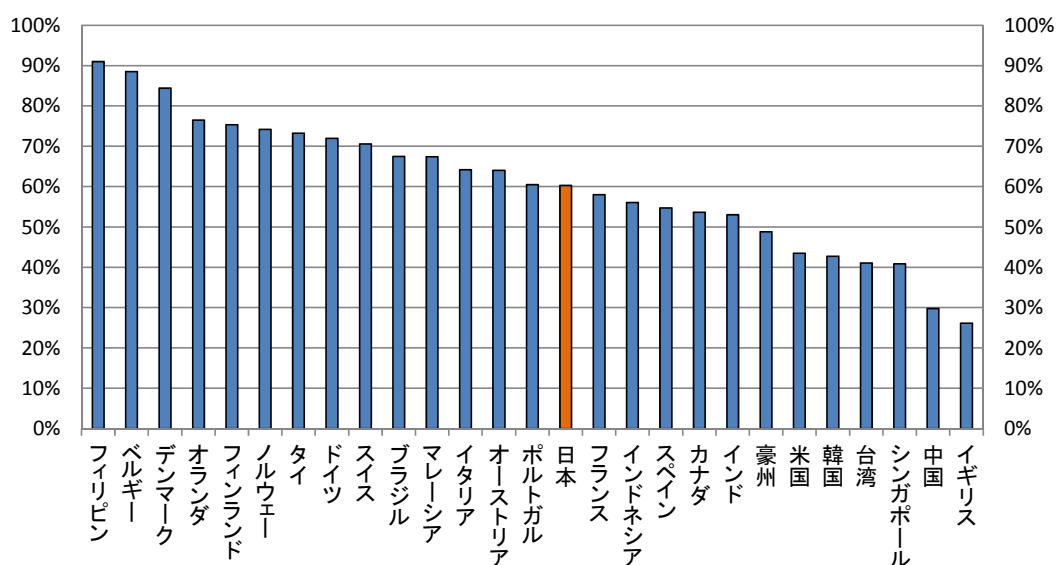
国内市場においては、運用資産の過半が大手運用会社に集中しているようだが、日本以外の市場も同じ傾向にあるか、アジア・オセアニア、欧州、北米・南米の26カ国についても調べてみた。

図表2は、日本を含む27カ国の運用会社（上位5社）の自国でのマーケットシェ

¹ ここでは契約型公募投資信託（株式投信と公社債投信）を運用する投資信託会社を対象とする。

アを表している。これを見ると、新興国ではフィリピン、タイ、先進国ではベルギー、デンマーク、フィンランドなどが70%以上である一方、中国、イギリスは30%に満たない。また、日本の上位5社のマーケットシェアは、27か国の中では平均的な水準（61%）と試算される。

図表2 各国運用会社（上位5社）の自国におけるマーケットシェア



注：豪州は2013年6月末、それ以外の国は2013年8月末基準。

出所：Strategic Insight のデータを基に NFI 作成

ヨーロッパ地域に限って言うと、デンマーク、フィンランド、ノルウェーなど北欧諸国が70%~80%程度と比較的高い一方、イギリスは30%以下でかなり低い。各国のファンド市場における制度や規制の違いが、マーケットシェアの形成に影響を与えることも考えられるが、販売チャンネルの違いがその一因であると思われる。

図表3は、ヨーロッパ地域で販売されている UCITS ファンドの主要販売チャンネル例である。ヨーロッパ地域では、80年代にファンドに関する共通基準（UCITS 指令）の整備が始まり、UCITS 指令に加盟している国で登録すればヨーロッパ地域のどの加盟国でも販売できる UCITS ファンドが普及してきた²。この UCITS ファンドを取扱う主な国の販売チャンネルを調査したレポートによると、銀行、保険会社、IFA

² 欧州投資信託協会（EFAMA）によると、2013年6月時点の UCITS ファンドの市場規模は欧州市場全体の70%を占める。UCITS 指令の沿革については、鈴木(2012)「UCITS IVの概要と UCITS 市場の発展」参照 (<http://www.nikko-fi.co.jp/uploads/photos1/1106.pdf>)。

(独立した金融アドバイザー) など様々な販売チャンネルがある中、現在は UCITS ファンドの 75%が銀行を経由して販売されている³。そのうち、スペイン、イタリア、オランダ、ドイツはリテールバンキング、スイスとオーストリアはプライベートバンキング、フランスやフィンランドは銀行のほか、保険会社も強い販売力を持っている。一方、イギリスでは IFA やブローカー、ファンド・プラットフォーム (インターネットを中心に多数の運用会社から提供されているファンドを販売するサービス) が主流である。

ドイツなどでは、近年 IFA による販売額が増加傾向にあるものの、依然として銀行などの金融機関が主要な販売チャンネルであるため、金融機関係列もしくは関連のある運用会社が高いマーケットシェアを占める可能性がある。それとは対照的に、IFA などのアドバイザーを中心にファンド販売を行っているイギリスでは、より多くの運用会社が利用されている。そのことが、上位 5 社のマーケットシェアが低くなる一因と考えられる。

図表 3 UCITS ファンドの販売チャンネル (ヨーロッパ地域)

国	銀行	保険会社	ファンド オブファ ンズ	年金ファ ンド	ファンド・ プラット フォーム	IFA/ ブロー カー	概要
フィンランド	◎	◎	-	-	-	-	銀行と保険会社が大半を占めている
オランダ	◎	○	-	-	-	○	リテールバンキングが80%占めている
ドイツ	◎	○	○	○	○	○	主にリテールバンキング(40%以上)。プライベートバンキングがそれに次ぐ。IFAが増加傾向
スイス	◎	○	○	○	○	○	銀行(プライベートバンキングが40%以上)。IFAやファンド・プラットフォームが僅か6.5%程度
オーストリア	◎	○	○	○	○	○	銀行(主にプライベートバンキング)
イタリア	◎	○	○	-	○	-	リテールバンキングが67%、保険会社が13%
フランス	◎	◎	-	-	-	○	リテールバンキング、保険会社がそれぞれ20%以上。ほかにプライベートバンキングが10%超
スペイン	◎	-	○	-	○	-	リテールバンキングが60%程度占めている
イギリス	○	○	○	○	◎	◎	IFAやブローカーが全体の55.6%を占めている。リテールバンキングは僅か2.3%

注 1 : 銀行はリテールバンキングとプライベートバンキングを含む。

注 2 : 販売チャンネル (○) のうち、主要なチャンネルは ◎で表示。

出所 : PwC Research、英国投資信託協会 (IMA) の情報を基に NFI 作成

(資産運用研究所 呂 潔)

³ PwC 「UCITS fund distribution 2012」

<http://www.pwc.ie/asset-management/global-distribution-of-ucits-funds.jhtml>